

た。元三重・京大学准教授の芦澤高彦さんをコーディネーターに、4人のパネリストと会場からも意見が出され、話し合われた。

話し合いの中ではバ

会の宮村元之会長が「閉店する店もあるが、空き店舗の開店補助金などでなんとか横ばいを保つている状態」と商店街の現状を紹介。また、「みんなでつくる『白いキャラバス』商店街～アイディアで彩る街づくり」という商店街の新しいキヤツチコピーも発表。商店街に市民の意見をより取り入れていきたい考えを示した。

まちなか再生プラン推進委員会の高島信彦委員長は「いろんな分野で頑張っている人や、歴史や文化など、素材、人材はたくさんある」とし、「一緒にやるシステム作り、



稚児姿の子供らでにぎわう改修された  
本堂内=中町の清光寺で

清光寺(中町)本堂で落慶

建立100年で改修、檀家ら祝う

町の三豊正言（さか） 一九三〇年

（横井信之住）人が参列し、工事完成を

、同寺本堂の祝つた。

同寺は奈良時代の高僧・行基の開基と云つて、落慶法要が行なわれた。この落慶法要が行なわれたのは、元和元年（1615）である。

元は松ヶ島城下にあつた

のを蒲生氏郷の松坂城築

城に伴い現在の日野町に  
多云。元長寺は、鬼王堂

修さ  
移転 元禄時代に現在地  
こ多つた。1900(明

改修

わうで  
などが焼失。10(同43)

年に現在の本堂などが建  
立されニ。

では、清光が立された

立100年を機に、耐震

化や修繕で次の世代に本  
堂へ譲り受けられました

堂を残していくと実施。工事に当たつたのは、

桑名市に本社を置き社寺  
院一堂に於ける事は

稻本建設専門の(株)小島建設

るなどの活用策の提案も。商店街活性化のためには「買い物をする」という一番の対策だが、そうはなっていない現状は消費者のニーズと店舗側のミスマッチがあるとの問題意識も挙げられた。

シンポジウムに先立つて行われた発表会では、地域おこしなびを目的的に今年2月に初めて開催された街コンイベント「松コン」や、家庭部の生徒が商店街や地域との連携活動を進めている鎌田由

長の高祖父・4代目小畠九右衛門が100年前の同寺建立を手掛けるなど、年代を超えた付き合いのある同社が改修を請け負った。

3年前から計画、工事が始まり、屋根の改修や建物内部の木材の交換などの工事がこのほど完了した。屋根の重量は以前の3分の1になるなど、耐震、減災にも力点が置かれた。

この日の落慶法事で  
は、雨の中午前9時ご  
ろから町内を練り行列が  
回るなど、にぎやかに奉  
行。本堂内では厳かに法

要が執り行われた。横井睦尚副住職は「改修を機に、壇信徒どより一層力を合わせて、次の100年に向かっていきたい」と話していた。

## 学校なび4団体が登壇